

CRYP クライアントソフトウェア V3 ユーザーマニュアル

[マネージドイントラネット CRYP 利用者さま向け]

2011 年 2 月 14 日 第 1.6 版

bit-drive

目次

1	マニュアルの概要とソフトウェアの利用許諾	3
1-1	本マニュアルの対象	3
1-2	ソフトウェアの使用許諾	3
2	CRYPクライアントソフトウェアのご利用条件	3
2-1	利用可能なオペレーティングシステムについて	3
2-2	CRYPカードについて	3
2-3	FeliCaポート/パソリについて	4
2-4	利用可能環境	4
2-5	併用できないアプリケーション	4
3	CRYPクライアントソフトウェアのインストール	5
3-1	CRYPクライアントソフトウェアのインストール	5
3-2	FeliCaポート/パソリの動作正常性の確認	10
4	CRYPクライアントソフトウェアの動作確認	11
4-1	CRYPクライアントソフトウェアの起動	11
4-2	CRYPカードのセット	11
4-3	リモートアクセス接続先リストの取得	12
4-4	リモートアクセスの実施	13
4-5	リモートアクセスの終了	13
5	CRYPクライアントソフトウェアのアンインストール	14
6	FeliCaポートソフトウェアのアンインストール	15
7	リモート接続時のInternet Explorerにおけるプロキシ設定について	16

1 マニュアルの概要とソフトウェアの利用許諾

1-1 本マニュアルの対象

本マニュアルは、CRYP リモートアクセスサービスを利用される方を対象に、インストール方法とリモートアクセスの実施手順についてご説明しております。

1-2 ソフトウェアの使用許諾

CRYP クライアントソフトウェアは、ソニービジネスソリューション株式会社が提供するサービスを利用するためのソフトウェアです。ソニービジネスソリューション株式会社が「CRYP クライアントソフトウェア使用許諾契約」の同意に基づき、CRYP クライアントの使用権を許諾します。

2 CRYPクライアントソフトウェアのご利用条件

2-1 利用可能なオペレーティングシステムについて

- CRYP クライアントは、以下のオペレーションシステムでご利用いただけます。

- Windows XP 32bit 日本語版

Service Pack	Service Pack 2/3
Edition	Home Edition, Professional

- Windows Vista 32bit/64bit 日本語版

Service Pack	Service Pack 2 まで
Edition	Ultimate, Home Premium, Home Basic, Business

- Windows 7 32bit/64bit 日本語版

Service Pack	-
Edition	Ultimate, Professional, Home Premium

- インストールの実施には、Administrator 権限のユーザでログインして実施する必要があります。
 - CRYP の利用は、一般のユーザ権限で実行が可能です。

2-2 CRYPカードについて

CRYP クライアントをご利用いただくためには、CRYP 対応カードが必要になります。CRYP カードに關しては、システム管理者さまへお問い合わせください。

2-3 FeliCaポート/パソリについて

CRYPをご利用いただくためにはFeliCaポート/パソリが必要となります。CRYPクライアントをインストールする際に、以前のバージョンのFeliCaポートソフトウェアをアンインストールする旨のメッセージが表示された場合は、先にFeliCaポートソフトウェアをアンインストールしてから、CRYPクライアントのインストーラを実行してください。CRYPクライアントと同時に最新のFeliCaポートソフトウェアもインストールされます。

FeliCaポートソフトウェアおよび設定に関しては、以下のホームページをご確認ください。

<http://www.bit-drive.ne.jp/cgi-bin/jumppage/jumppage.cgi?pageNo=545>

2-4 利用可能環境

- リモートアクセス、無線LANの利用には、それぞれ次の条件を満たす必要があります。

- リモートアクセス

ルータおよびクライアント内ファイアウォールで以下のアクセスを許可にしておく必要があります。

プロトコル(番号)	ポート番号
ESP(50)	-
UDP(17)	500
UDP(17)	4500
UDP(17)	1701

- 無線LAN

CRYPに登録された無線アクセスポイントの電波が届く場所で利用する必要があります。詳しくは、管理者さまへご確認ください。

2-5 併用できないアプリケーション

CRYPクライアント以外に、リモートVPN機能を有するソフトウェアがインストールされている場合、以下の問題が起こる可能性があります。

- サードベンダー製リモートVPNクライアントソフトウェア全般

CRYPクライアント以外に、リモートVPN機能を有するソフトウェアがインストールされている場合、以下の問題が起こる可能性があります。

対象ソフトウェア	サードベンダー製リモートVPNクライアントソフトウェア全般
競合時の状況	サードベンダー製リモートVPNクライアントがインストールされているPCに、CRYPクライアントをインストールした場合、ネットワーク接続やCRYPの利用等に支障をきたす場合があります。
対処方法	CRYPクライアントとリモートVPNアプリケーションとの間に、ネットワーク制御の奪い合いが生じるため、共存して利用することができません。CRYPクライアントを利用される場合は、サードベンダー製リモートVPNクライアントをアンインストールしてください。

3 CRYPクライアントソフトウェアのインストール

3-1 CRYPクライアントソフトウェアのインストール

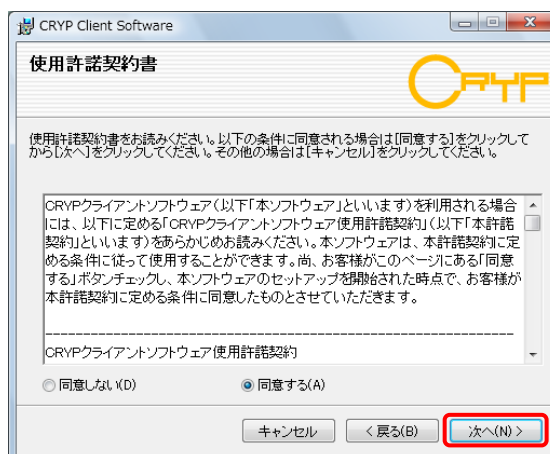
- bit-drive サポートサイトから、CRYP クライアントソフトウェアをダウンロードしてください。

<http://www.bit-drive.ne.jp/cgi-bin/jumppage/jumppage.cgi?pageNo=526>

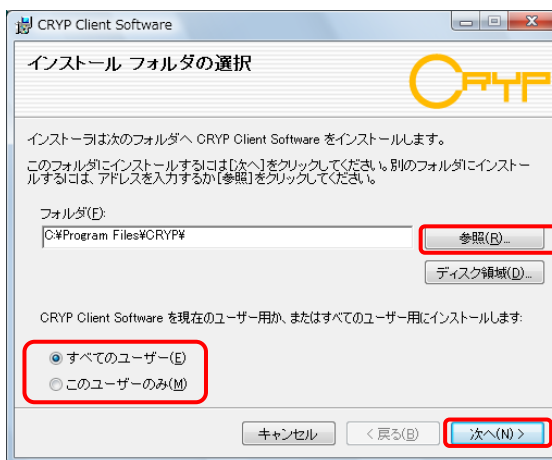
- ダウンロードしたインストールソフトウェアを実行してください。CRYP クライアントのインストール画面が表示されますので、[次へ(N)]をクリックします。



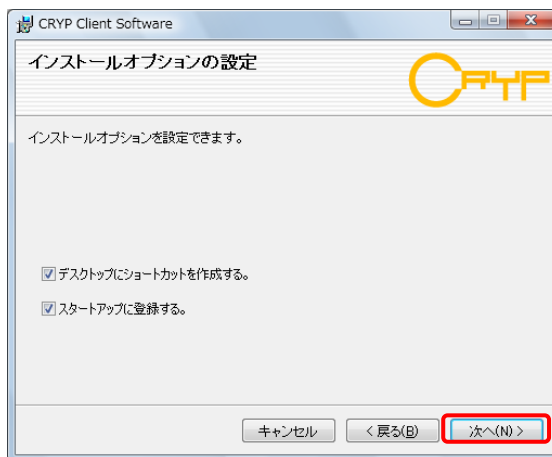
- 使用許諾契約について表示されますので、同意される場合は[同意する(A)]をクリックしてから[次へ(N)]をクリックします。



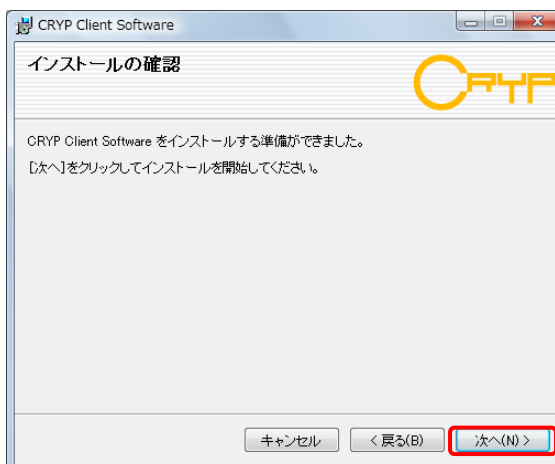
- CRYP クライアントソフトウェアのインストール先を設定します。その後、利用可能なユーザを選択して、[次へ(N)]をクリックします。



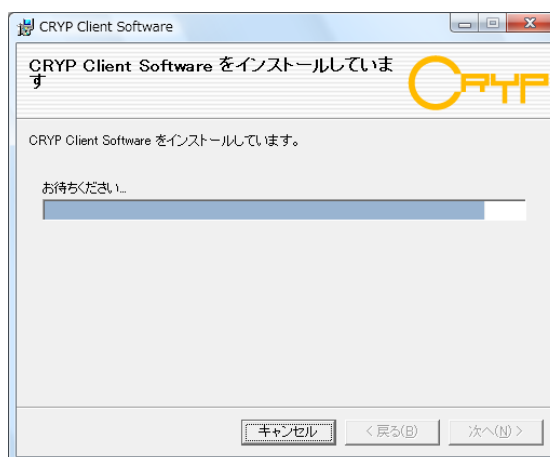
- インストールオプションを確認し、必要なオプションを選択した後、[次へ(N)]をクリックします。



- インストールの確認画面が表示されますので、[次へ(N)]をクリックします



- インストールが開始されます。



- FeliCa ポートソフトウェアが端末にインストールされていない場合は、インストールの途中で以下のように、「FeliCa ドライバをインストールします」と表示されますので、[OK]をクリックして、FeliCa ポートソフトウェアをインストールします。

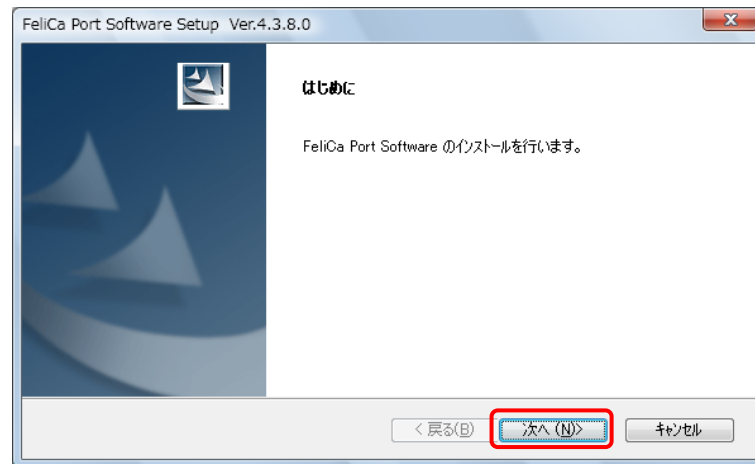


※FeliCa ポートソフトウェア(Ver.4.3.8.0 以上)がインストールされている場合は、このタイミングで FeliCa ポートソフトウェアのインストールは行われません。

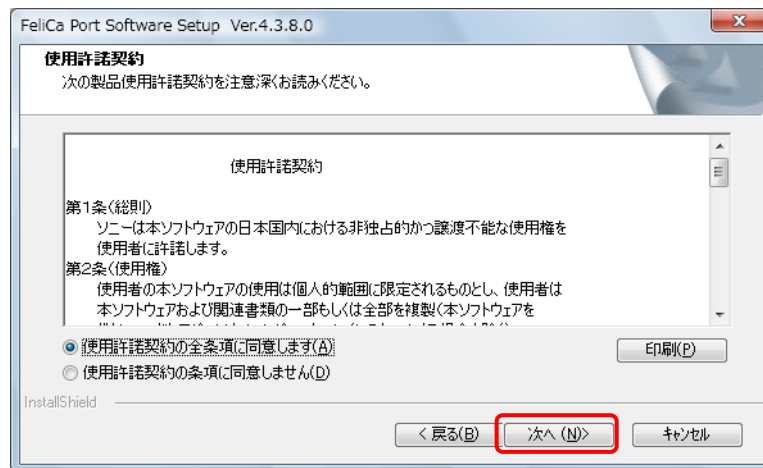
※古い FeliCa ポートソフトウェア(Ver.4.3.8.0 よりも古い)がインストールされている場合は、以下のように FeliCa ポートソフトウェアをアンインストール後、CRYP クライアントをセットアップするように促されますので[OK]をクリックし、インストールを中断してください。インストール中断後は古い FeliCa ポートソフトウェアをアンインストールしてから再度、CRYP クライアントのインストールを実施してください。FeliCa ポートソフトウェアのアンインストール手順につきましては「6 FeliCa ポートソフトウェアのアンインストール」をご覧ください。



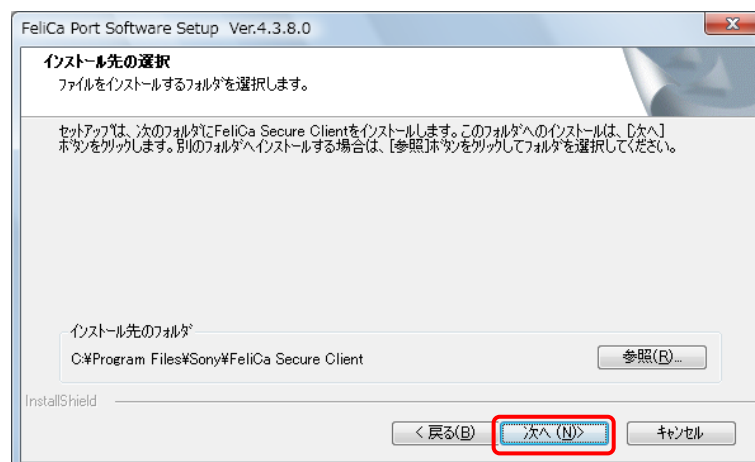
- FeliCa ポートソフトウェアのインストール画面が表示されますので、内容を確認して[次へ(N)]をクリックします。



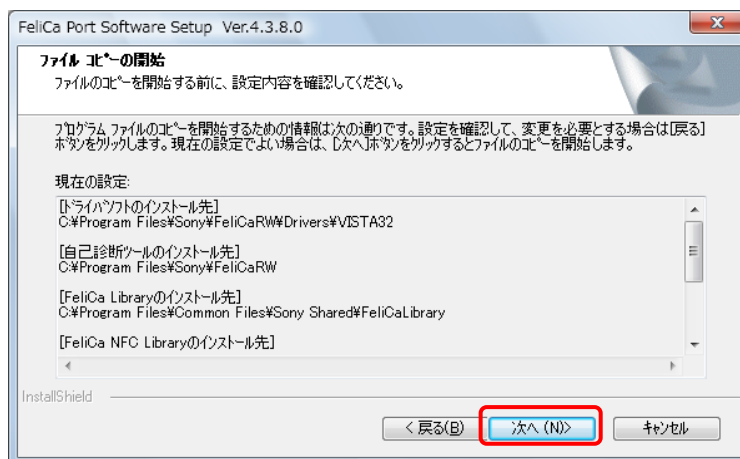
- 使用許諾契約について表示されますので、同意される場合は[はい(Y)]をクリックします。



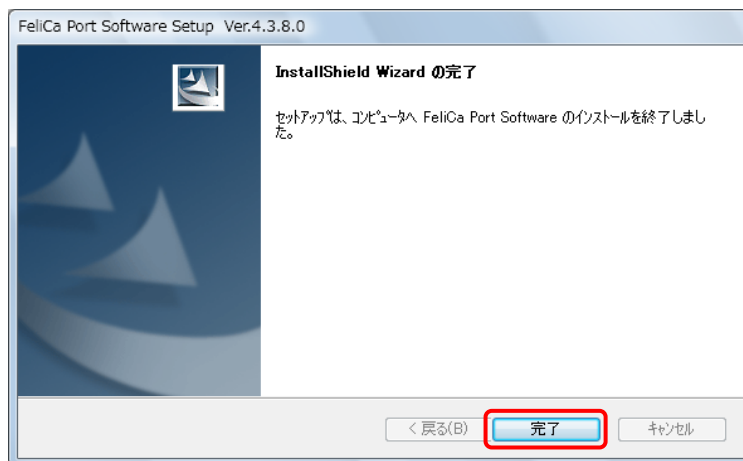
- FeliCa ポートソフトウェアのインストール先を設定し、[次へ(N)]をクリックします。



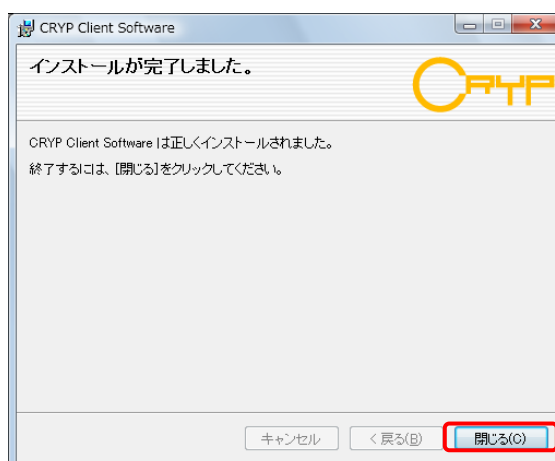
- 設定内容の確認画面が表示されますので、問題なければ、[次へ(N)]をクリックします。



- インストールが行われ、完了すると完了を通知する画面が表示されます。



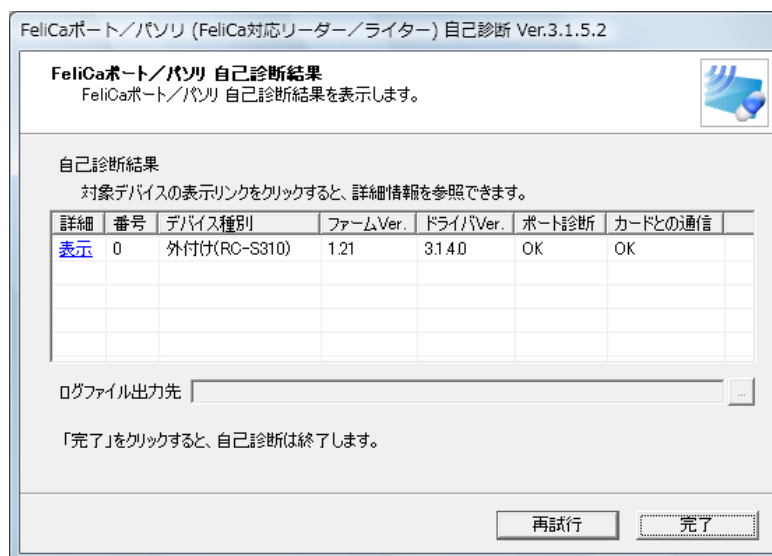
- インストールが完了したら、[閉じる(C)]をクリックし、ウィンドウを閉じます。



※この時、再起動を促すメッセージが表示された場合は、必ずシステムを再起動してください。

3-2 FeliCaポート/パソリの動作正常性の確認

すべてのアプリケーション(CRYP クライアントソフトウェアを含みます)が動作していない状態で、FeliCa ポート/パソリの上に CRYP カードを置き、スタートメニュー>プログラム内の「FeliCa ポート」にある「FeliCa ポート自己診断」を実行してください。「次へ」をクリックすると以下のような画面が現れ、動作およびプログラムのバージョンを確認することができます。



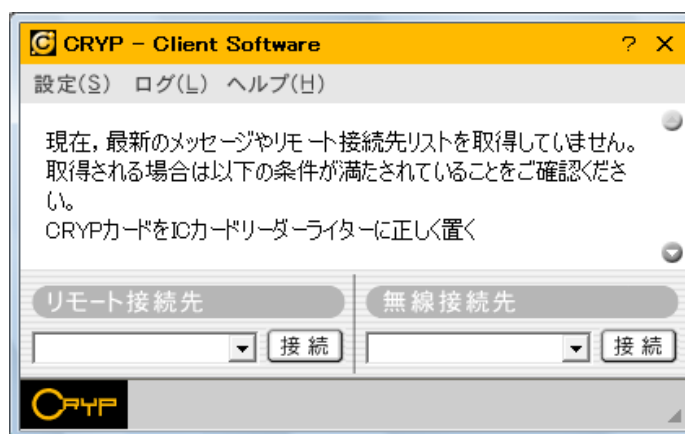
4 CRYPクライアントソフトウェアの動作確認

4-1 CRYPクライアントソフトウェアの起動

- CRYP クライアントソフトウェアインストール後、スタートメニューから [すべてのプログラム(P)] → [CRYP] → [CRYP クライアント] を選び CRYP クライアントソフトウェアを起動してください。
 - CRYP クライアントは、起動後、タスクトレイに常駐します。

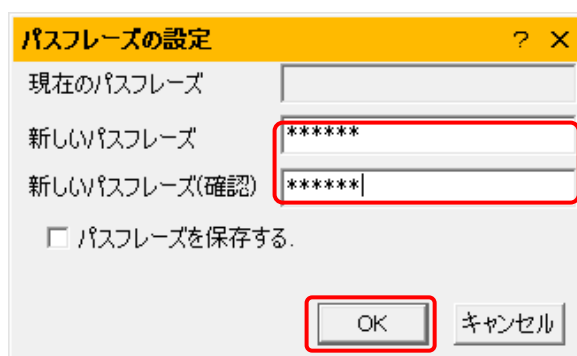


- タスクトレイのアイコンをダブルクリックすると以下のウィンドウが表示されます。



4-2 CRYPカードのセット

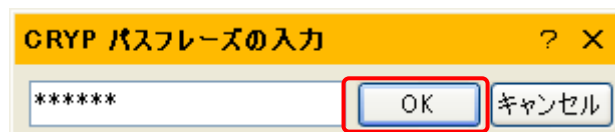
- FeliCa ポート/パソリに CRYP カードをセットします。
 - 初めて CRYP カードを使用する場合は、以下の画面が表示されますので、パスフレーズを入力し、OK をクリックします。「パスフレーズを保存する」をチェックすると、次回からパスフレーズの入力を省略することができます。



【ご注意ください】

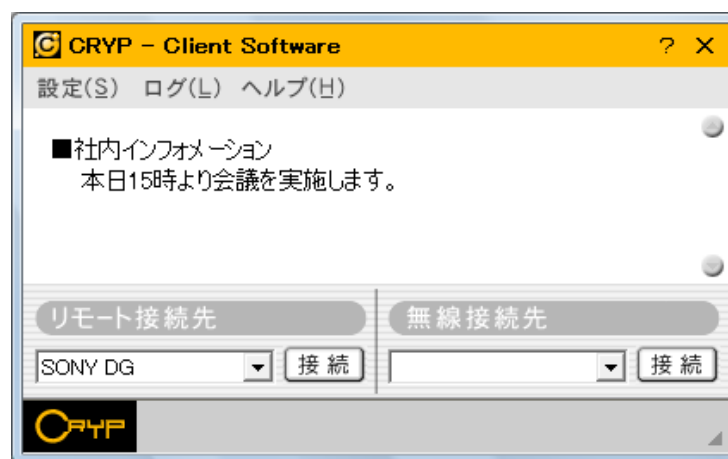
パスフレーズを紛失した場合、初期化や CRYP カードの復活はできません。

- 2 回目以降に、パスフレーズが設定された CRYP カードをセットすると、以下の画面が表示されますので、パスフレーズを入力し OK をクリックしてください。

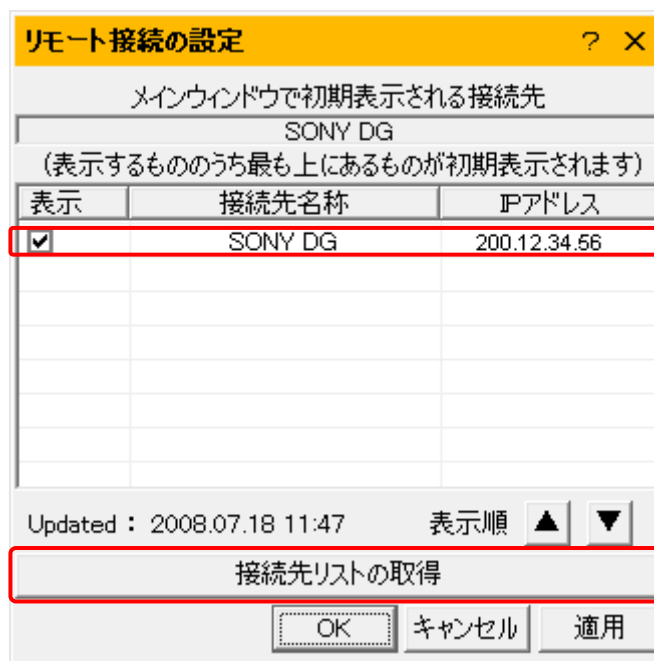


4-3 リモートアクセス接続先リストの取得

- CRYP クライアントのメインウィンドウから、[設定(S)]→[リモート接続の設定]を選びます。

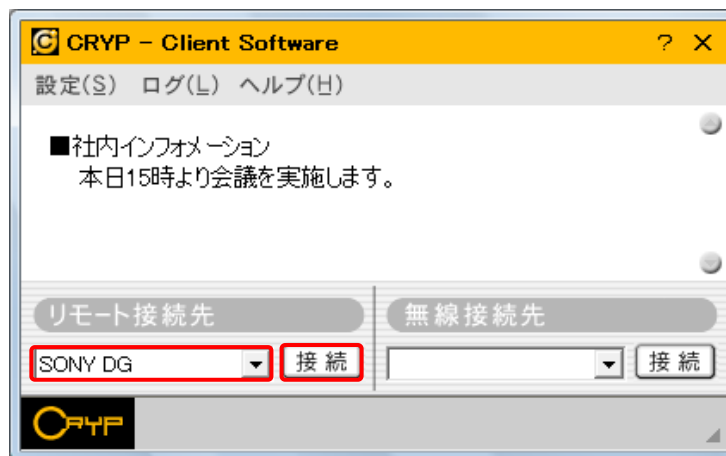


- [接続先リストの取得]をクリックし、[接続先名称]の画面にリモートアクセス先の CRYP サーバが表示されることを確認します。

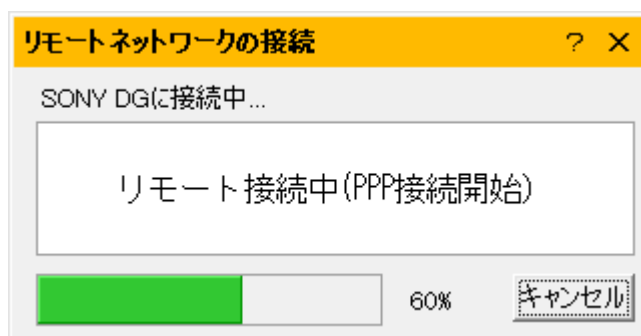


4-4 リモートアクセスの実施

- メインウィンドウよりリモート接続先を選択し、[接続]をクリックします。

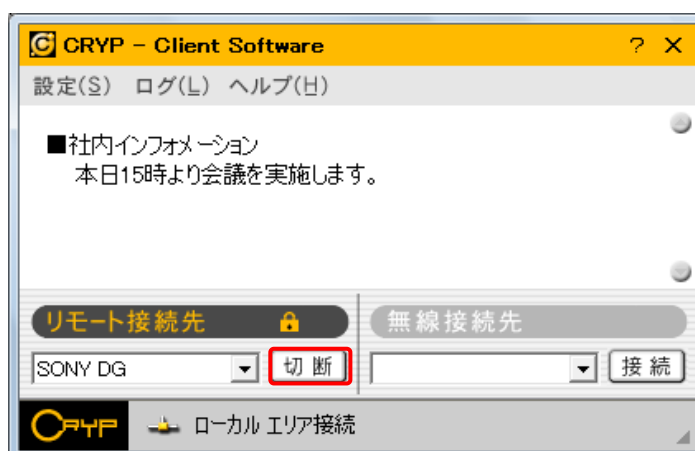


- 接続ボタンを押すと、接続中画面が表示されます。実行バーが 100%表示まで進めば、リモートアクセス接続が完了となります。



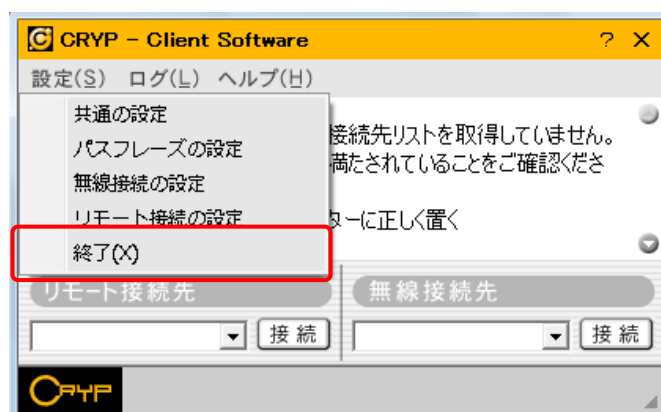
4-5 リモートアクセスの終了

リモートアクセスを終了したい場合は、[切断]をクリックします。



5 CRYPクライアントソフトウェアのアンインストール

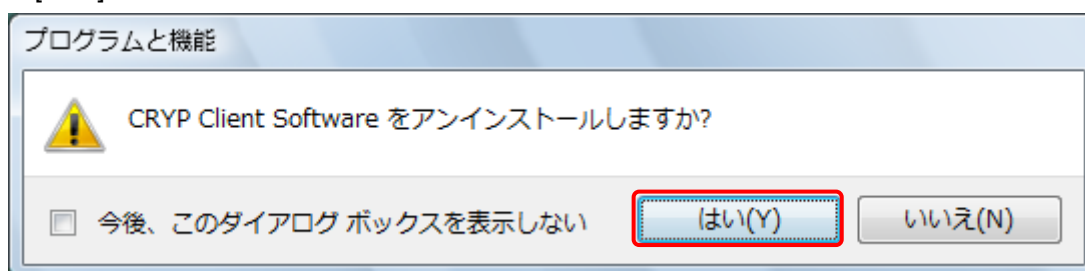
- [設定(S)]→[終了(X)]をクリックし、CRYP クライアントを終了します。



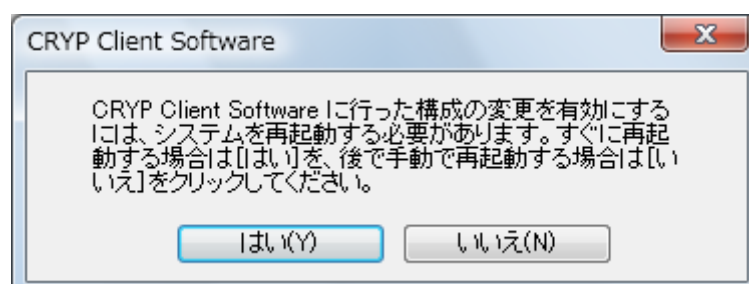
- [コントロールパネル]を開きます。[プログラムと機能]をクリックし、「CRYP Client Software」を選択し、[削除]をクリックします。



- [はい]をクリックし、アンインストールを開始します。

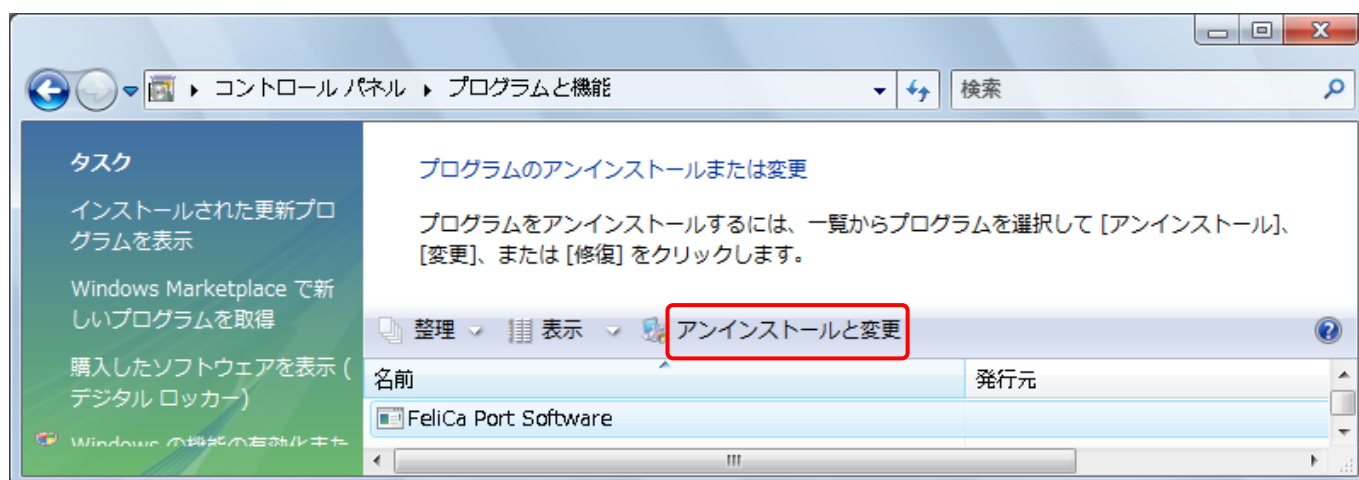


- アンインストールが終了すると、システムの再起動実施を促す画面が表示されますので、[はい]をクリックし、システムの再起動を実施します。

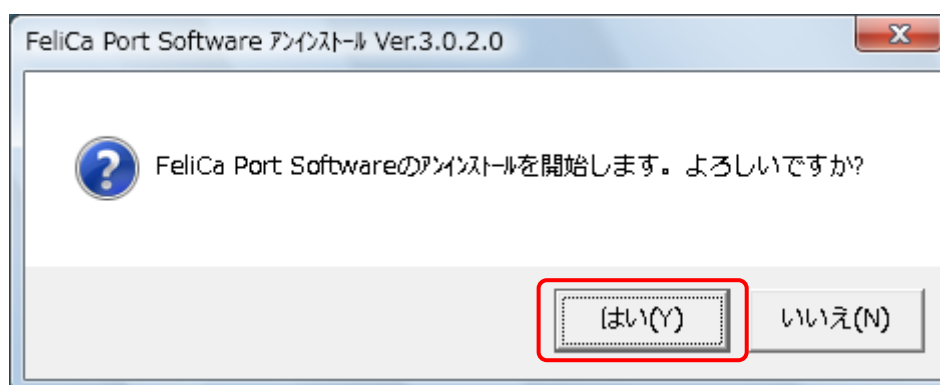


6 FeliCaポートソフトウェアのアンインストール

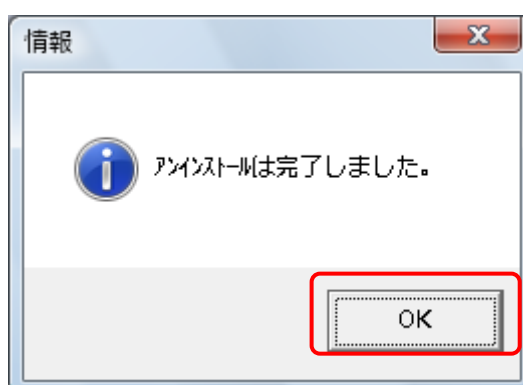
- [コントロールパネル]を開き、[プログラムと機能]をクリックします。「FeliCa Port Software」を選択し、[アンインストールと変更]をクリックします。



- [はい]をクリックします。



- [はい]をクリックします。

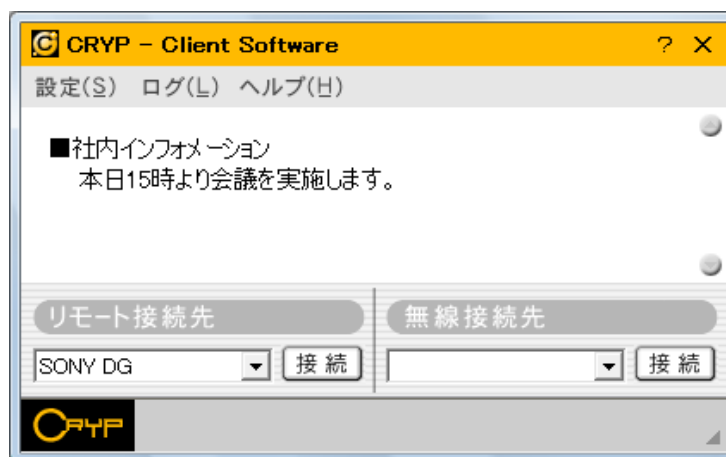


※この時、再起動を促すメッセージが表示された場合は、必ずシステムを再起動してください。

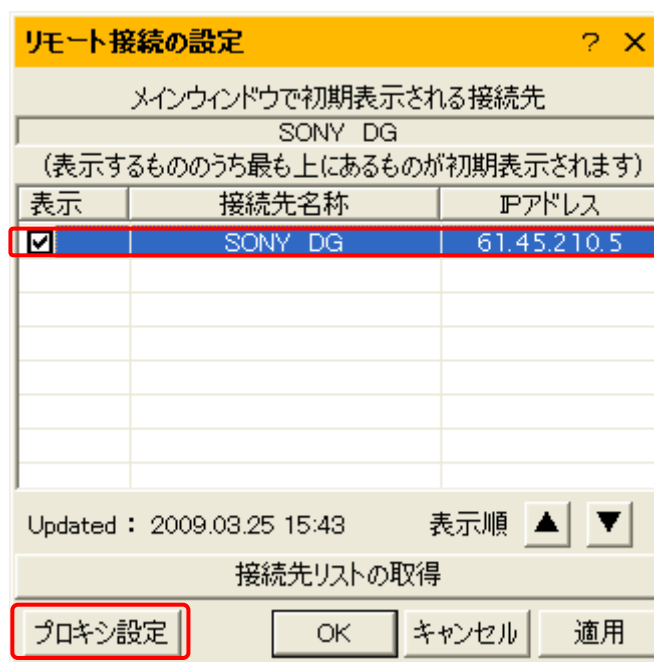
以上で FeliCa ポートソフトウェアのアンインストールは終了です。

7 リモート接続時のInternet Explorerにおけるプロキシ設定について

- リモート接続中に Internet Explorer にてプロキシサーバーを指定する場合は、以下を実施してください。
 - 対象 CRYP クライアントソフトウェア:Version3.2 以上
- CRYP クライアントのメインウィンドウから、[設定(S)]→[リモート接続の設定]を選びます。



- [接続先]を選択し、以下のように接続先の色が青になった状態で[プロキシ設定]ボタンを押します。



- 初期状態では、以下のようにマネージドイントラネットのプロキシサーバーを使用するように設定されています。必要に応じて、プロキシの設定を変更してください。設定が終わりましたら、[OK]ボタンを押し、プロキシの設定画面を終了します。

プロキシの設定 ? X

接続先 SONY DG
IPアドレス 61.45.210.5

プロキシの設定

プロキシサーバーを使わない
 Internet ExplorerのLANでのプロキシ設定を使う
 次のプロキシサーバーを使う

アドレス 10.255.254.11 ポート 8080

ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使わない
 次で始まるアドレスにはプロキシサーバーを使わない

複数のエントリはセミコロン(;)を使ってください。

既定値に戻す OK キャンセル